ひとつの考え方

全くの個人的な　１つの物事の考え方ですが。。。。

フランスがなぜイラク擁護にまわるのか。

その主な理由のひとつは・・・・

フランスがイラクに対する最大の輸出国だからである。

イラクの輸入年間１１６億ドルの２２.５％→２６億ドルが

フランスからの輸入である。

次いでオーストラリア２２％・中国５.８％・ロシア５.８％の順である。

対イラクの貿易の利権順位がイラクの擁護チームになっている。

オーストラリア参戦の意味。

この点で、今回対イラク輸出第２位のオーストラリアが

英米連合軍に回ったことは印象深い。

その背景には、オーストラリアが英連邦の一員であることも

大きな要因なのだが、それよりも昨年１０月バリ島で

イスラム過激派が起したディスコの爆弾テロで

多数のオーストラリア市民がテロの犠牲者と

なったことが大きな要因であるように思える。

イスラム過激派の活動に対して毅然たる態度を

取るという意思表示であるかと考える。